

平成26年1月27日

中央環境審議会自然環境部会自然公園小委員会（第27回）

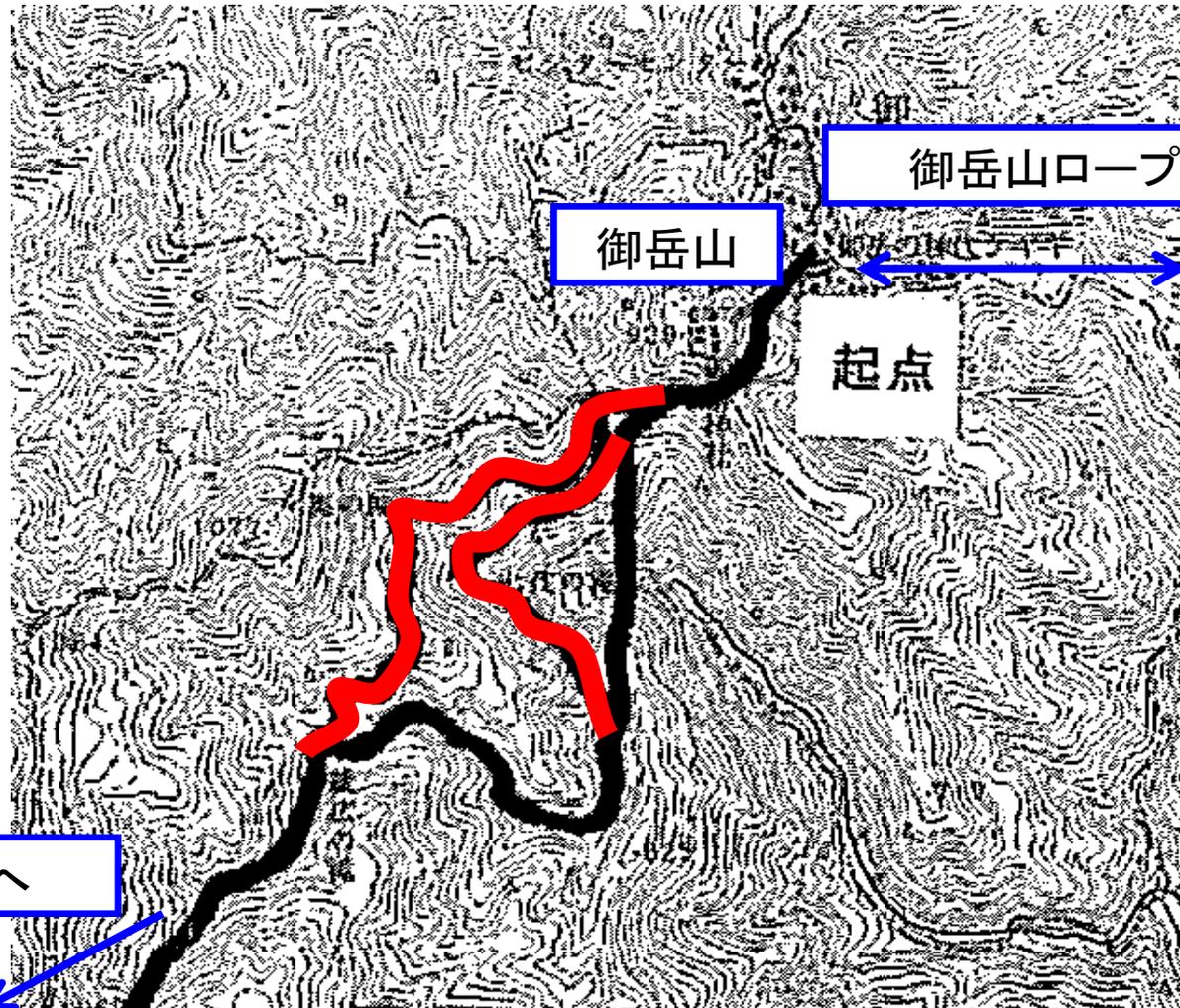
国立公園事業の決定・廃止・変更 案件に関する説明資料

決定：10件 / 廃止：1件 / 変更：5件

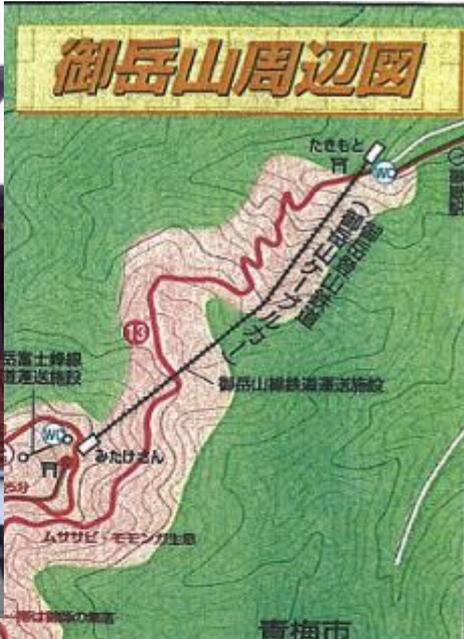
秩父多摩甲斐国立公園

御岳山三頭山線道路（歩道） 変更

- 変更内容：路線距離 18 km → 20.3 km



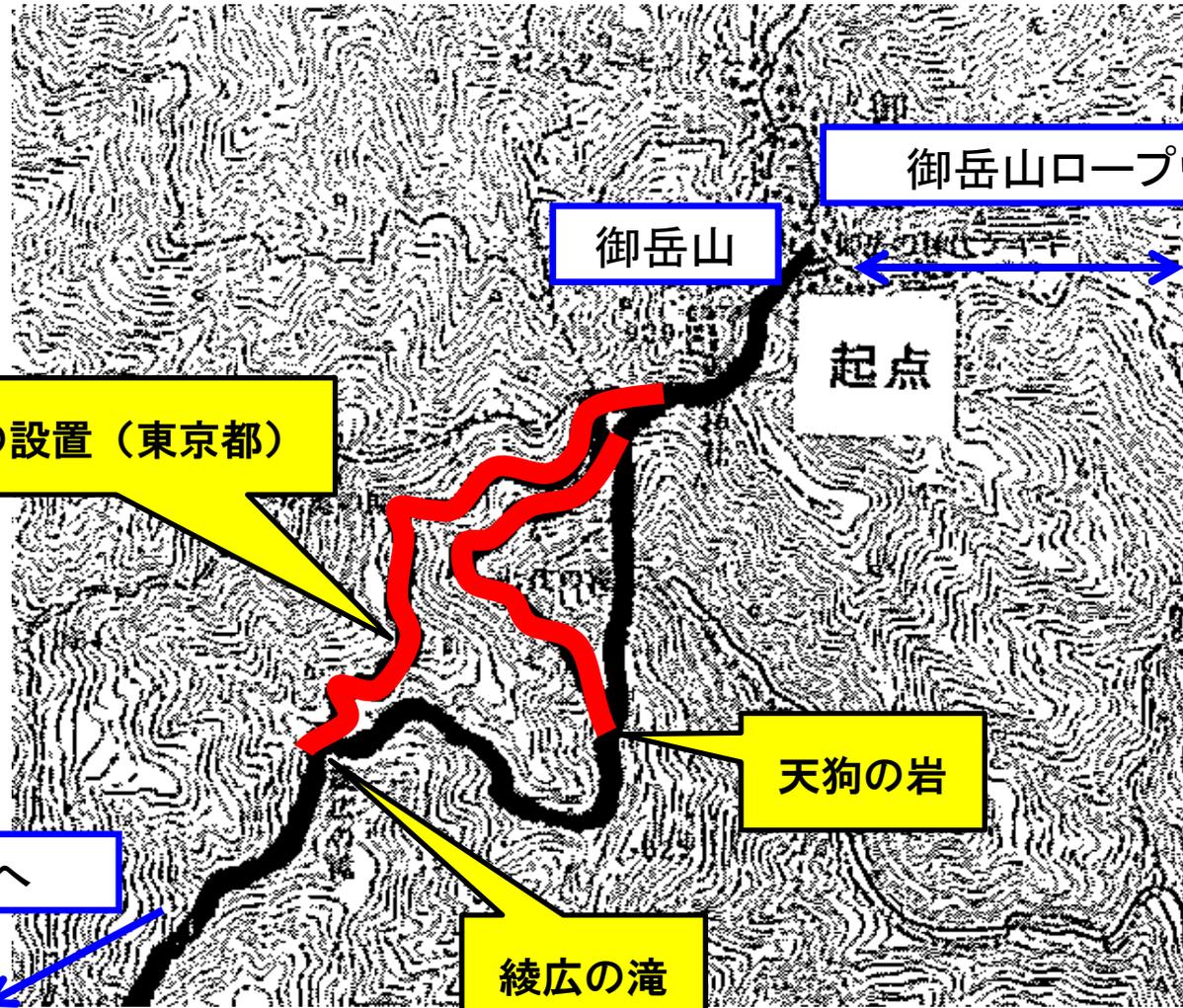
武蔵御岳神社



ロックガーデンの道



年間約25万人の利用客
⇒うち、登山道利用者は約15万人



御岳山ロープウェイ

御岳山

起点

トイレの設置 (東京都)

天狗の岩

大岳山へ

綾広の滝

新たに歩道を執行→トイレの新築



綾広の滝→周回路・登山道としての活用



- 全線、**東京都が執行**予定
- 綾広の滝や天狗の岩等、多様な興味地点が存在
- 既存歩道を公園事業として位置付け、トイレの再整備



- 公園事業として**適正な維持管理を促す**。
- 御岳山の散策や大岳山登山等をする利用者に対し、当該地域の**多様な周回コースの提供**や**利用サービスの向上**を行う。

富士箱根伊豆国立公園

富賀浜園地 決定

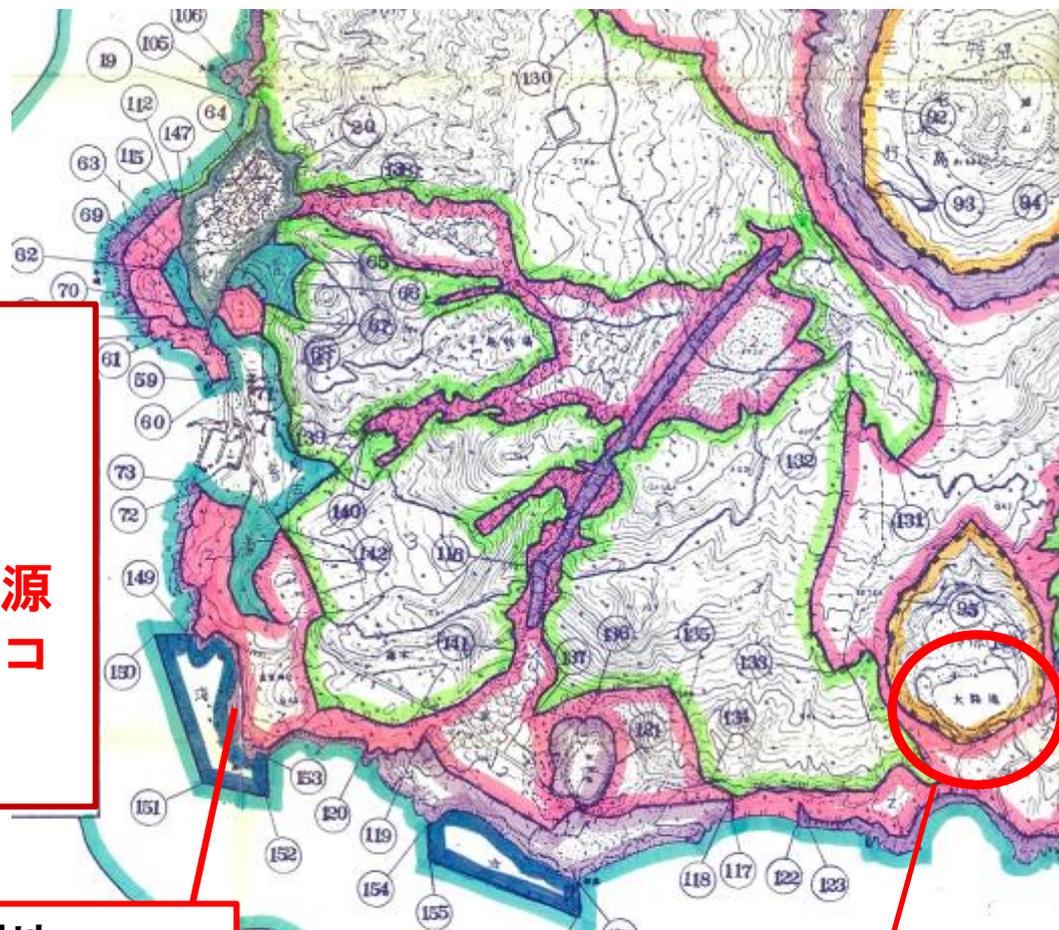
大路池周廻線道路（歩道） 変更

平成24年度

「第2次三宅村観光振興プラン」



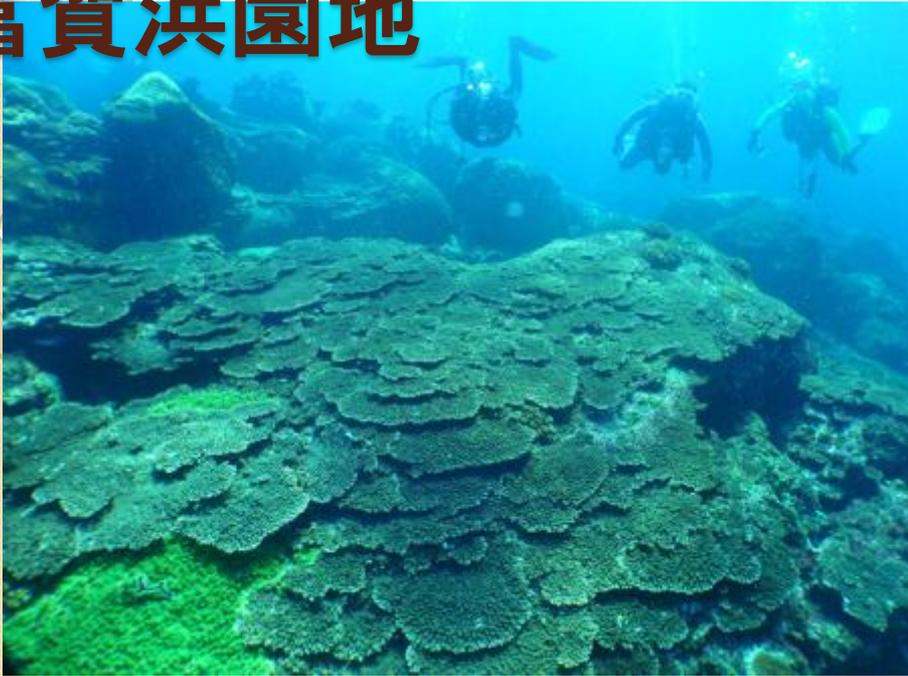
三宅島特有の火山を重要な地域資源として活かし、体験型の利用、エコツーリズムを推進



富賀浜園地
区域面積 1.5ha

大路池周廻線道路（歩道）
路線距離 1.5km → 2.4km

富賀浜園地



- 海中には大規模なテーブルサンゴの生息地等があり、海域公園地区に指定されている
 - 海水浴・ダイビングのスポットとして多くの来島者が利用
観光客数 年間約4万人（平成12年火山活動前は約8万人）
- イソギク等の海岸植生やウチヤマセンニュウ等の鳥類が観察できる
 - 村営の自然ふれあい施設や地元ガイド団体が、バードウォッチング、自然観察会等を開催



<整備箇所の様子>



- 大きな石が散在し、強風の影響もあり、**海への入水が難しい**
- 海岸域を無秩序に歩行することにより、イソギクやスカシユリ等の**海岸植生への踏圧**が生じている



- 公園事業として、海岸への入水路、トイレ、四阿等必要最低限の利用施設を東京都が整備
- **貴重な自然環境を保全しながら、幅広い利用者による安全・快適な利用が可能に**

大路池周廻線道路（歩道）



- 雄山の寄生火山として生じた伊豆諸島唯一の火口湖。スダジイ、タブを主とする原生林が残存。
 - 1時間程度の**原生的自然景観を楽しめる散策路**
- アカッコ、イイジマムシクイ等の希少な鳥類の生息地
 - 村営の自然ふれあい施設や地元ガイド団体が、**バードウォッチング、自然観察会**等を開催

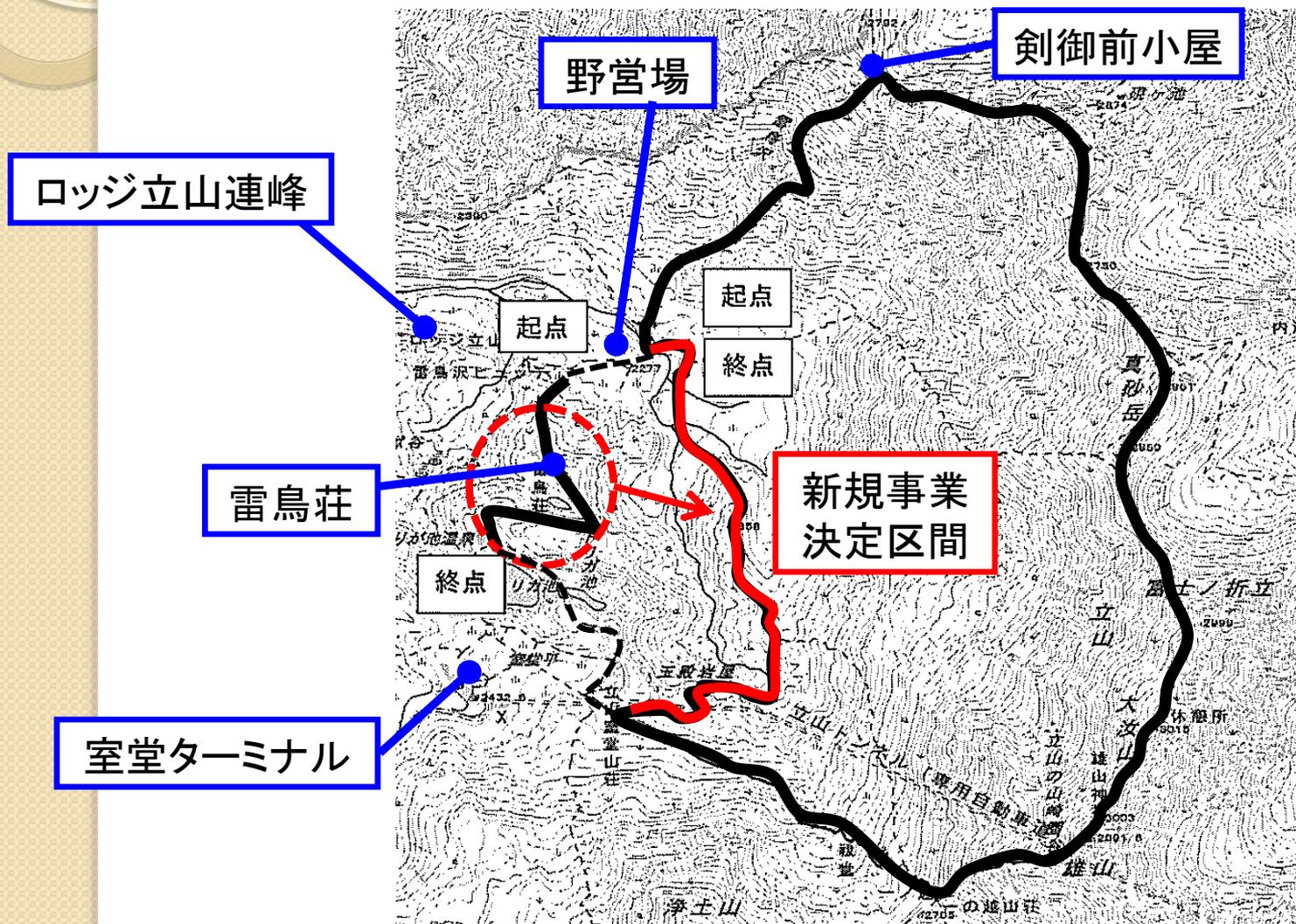


- 大路池の水面上昇により、歩道の一部が水没し、周回ができない状況
- ↓
- 公園事業として、東京都において、自然環境に配慮しつつ木階段、標識、デッキ等の再整備を実施予定
 - 伊豆諸島最大の火口湖・原生林・数多くの固有種を含む野鳥を、**安全・快適に楽しめるルートの提供**

中部山岳国立公園

立山登山道線道路（歩道） 変更

- 変更内容：路線距離 8.3 km → 11 km





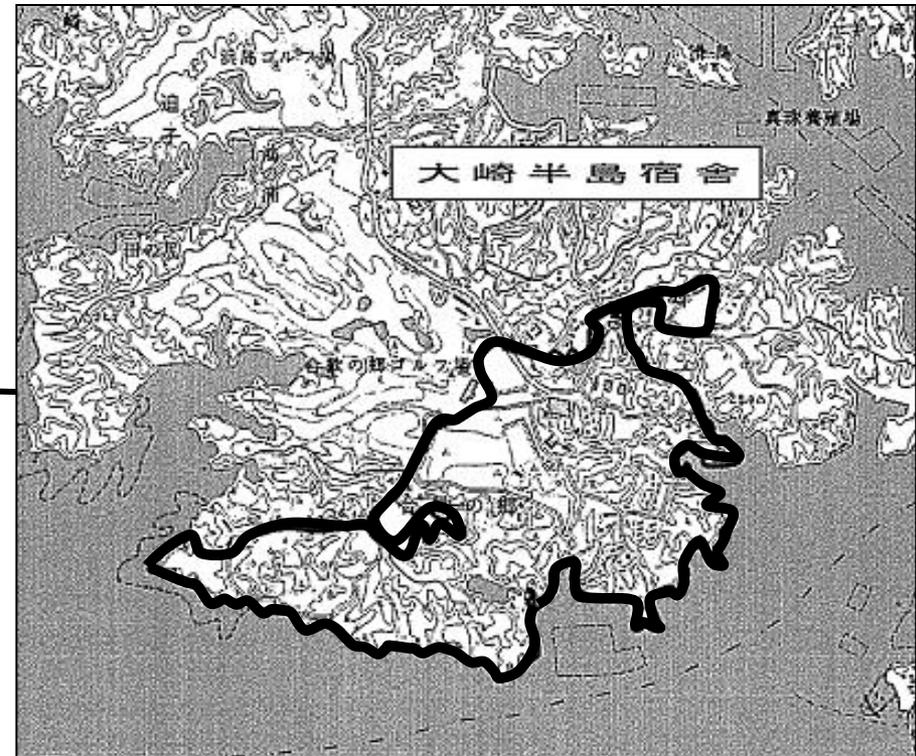
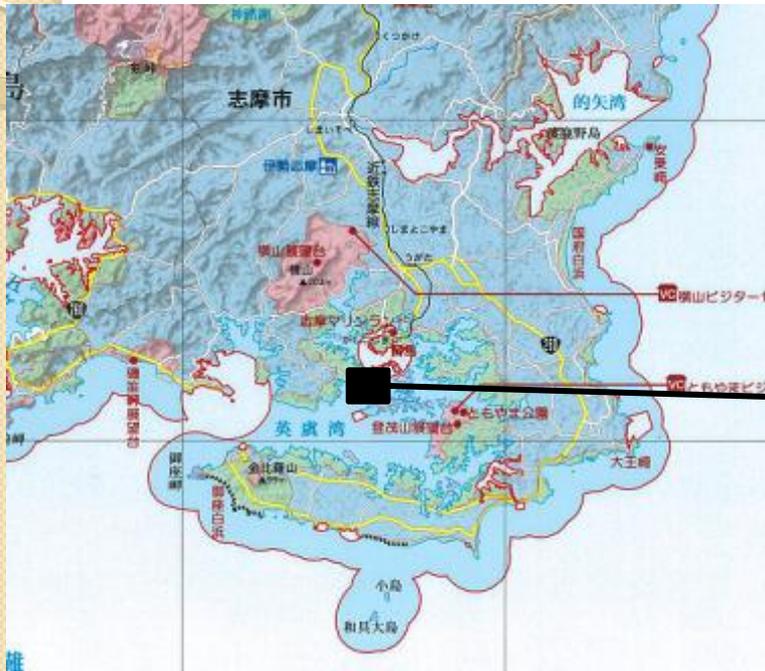
- 立山室堂には年間約75万人の利用者数があり、周辺散策や登山を楽しんでいる
 - 近年、立山地獄谷の噴気活動が活発化
 - 周辺園路において、風向き等条件によっては**人体に影響の及ぶ火山ガス濃度**が発生
- ↓
- 万が一現道が**通行できなくなった際の迂回路の確保が必要**



- 環境省において緊急時には避難路としてもつかえる**新たな歩道を設置**
- 踏み分け路等、既に利用されているルート等を必要最小限の範囲で再整備
- 火山ガスに帯する**注意喚起**や**通行規制**等については、立山室堂地区安全対策専門委員会を中心に、**関係者と**ともに**実施**。
- 避難措置の判断や防災計画等は、地元自治体が中心になって検討中。

伊勢志摩国立公園 大崎半島宿舎 決定

- 決定内容：区域面積 140ha
最大宿泊者数 1,300人/日



- 志摩市への観光客数は年間約400万人で推移
- 平成23年3月 志摩市総合計画に策定
 - ・ 平成27年度の入込者数の目標 ⇒ 1.1倍に増加
 - ・ 体験型ツーリズムの推進、長期滞在型観光地づくり



- 敷地内には、**宿泊棟**のほか、**温泉施設、テニスコート、運動場、ホール、グランドゴルフ、大崎半島への歩道等**が整備
- アクティビティ、園内散策、英虞湾での釣りや遊覧船観光、里海トレッキング、カゴ漁といった**自然体験プログラム等**、幅広い利用がされてる。
- 平成24年度の年間宿泊人数は11万人、日帰り利用者は13.9万人
- 宿泊棟のリニューアルに併せて利用計画を変更し、**公園利用者のための施設として位置付け**、利用の促進と適正な管理を促す。
- 現在の日最大宿泊人数は830人/日 夏休みを中心とした利用が多い。
⇒志摩全体での入込者数を1.1倍にする目標、体験型ツーリズム等の中核施設であることから、日最大宿泊人数の決定規模を**1,300人/日**とする。



近畿自然歩道の様子



近畿自然歩道からの展望地

- 本歩道の利用者数は約12万2千人
- 平成24年3月環境省の直轄整備の方向性を示す

伊勢志摩国立公園近畿自然歩道等の整備基本計画を策定

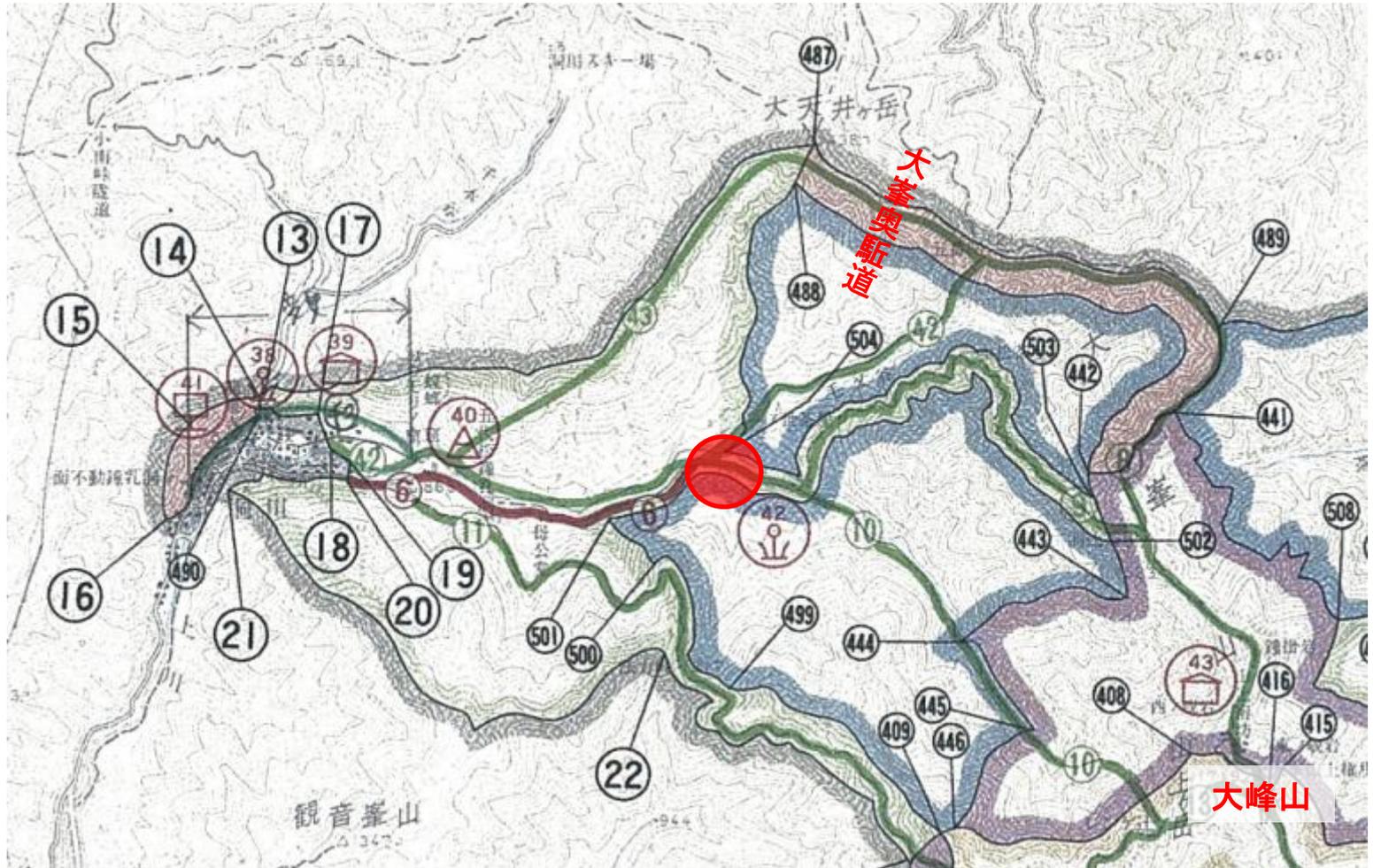


「伊勢志摩を歩く240km ～Border to Border～」

伊勢志摩国立公園の端から端まで連続して歩くことができる歩道、
点的な理解を超えて総合的に感じ理解することが出来る歩道、国立
公園の基幹的施設としてエコツーリズム等の新しい利用に対応した
歩道を整備

吉野熊野国立公園 清浄大橋園地 決定

- 決定内容：区域面積 0.5 ha



年間利用者数 約3万人



大峯奥駈道



山上ヶ岳山頂の大峰山寺

- 大峯奥駈道や山上ヶ岳山頂の大峰山寺に続く参拝道の登山口
- 駐車場、休憩所が天川村により整備されている
- 大峰山利用の重要な拠点
- 環境省においてもトイレを整備



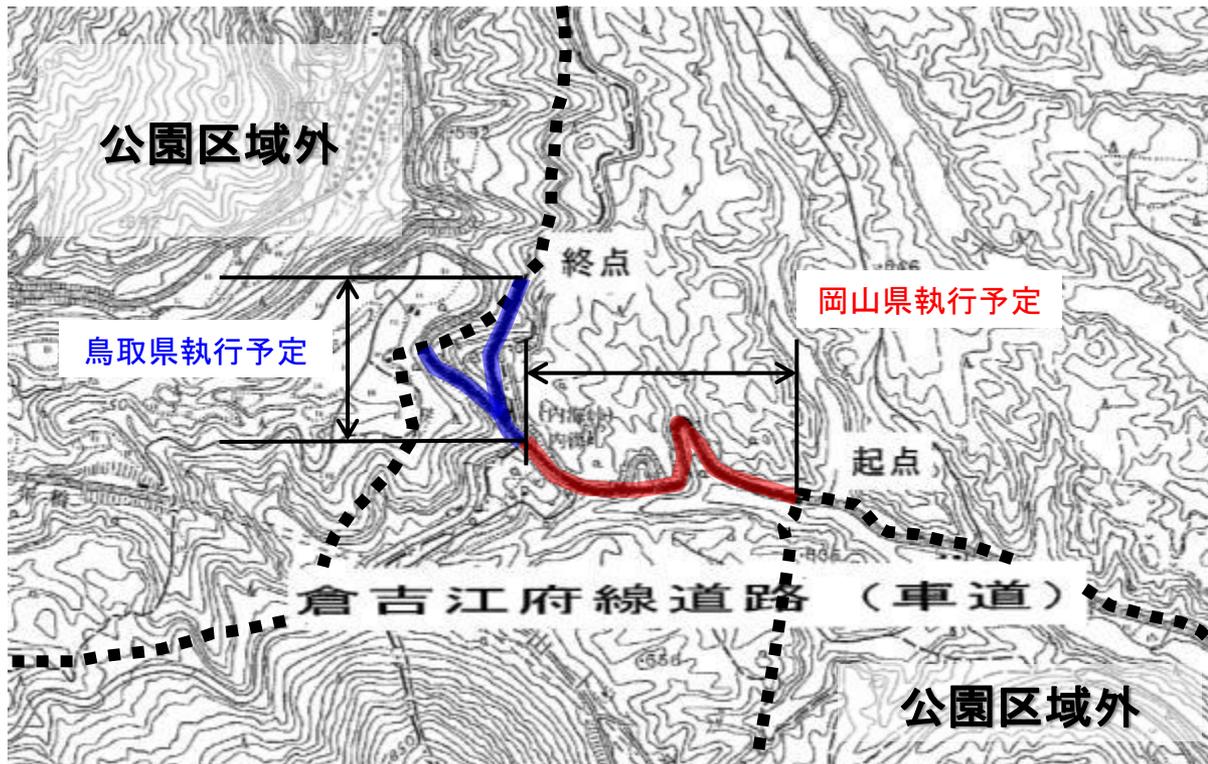
- 公園利用のための公園事業に位置づけることで、適正な維持管理を促す



大山隠岐国立公園

倉吉江府線道路（車道） 決定

- 決定内容：路線距離 1.9 km/有効幅員 7.0 m



大山地域及び蒜山地域を結ぶ観光道路として利用

- 大山地域の利用者数：1,365千人
- 蒜山地域の利用者数：2,835千人

⇒近年増加傾向

公園事業として自然環境への配慮、利用者の安全が確保された適正な維持管理を指導していく。



- 船上山登山や展望利用が主な利用。
 - 船上山自然の家が企画する学校団体を対象とした自然とのふれあいイベント等の利用も多く見られる。
 - 鳥取県が解説板を整備、環境省が休憩所を整備している。
 - 地元琴浦町が、周辺の通景確保や草刈り等を含めた管理を行い、園地としての機能確保する
- ↓
- 園地の適正な維持管理のためにも、事業規模を決定する。

慶良間諸島国立公園の新規指定に伴う 公園事業の決定



沖縄海岸国定公園慶良間地域において、既に国定公園事業として執行されている施設等
↓ 〔慶良間諸島国立公園の新規指定〕

慶良間諸島国立公園の国立公園事業として引き継ぐ
国立公園においても重要な利用拠点として機能。環境省としてもその充実を図っていく

渡嘉志久園地

決定内容：区域面積 4.4ha

- サングの白い砂浜とケラマブルーの海域の眺望やシュノーケルやダイビング利用が可能
- 砂浜を含む一定の広場を園地の区域として決定
- 渡嘉敷村が、歩道、駐車場、トイレ、休憩所等を整備
- **環境省において入口標識を整備**



阿波連岬園地

決定内容：区域面積 2.4ha

- ケラマブルーの海域と砂岩からなる断崖が眺望しながら、岩の上等を散策できる園地
- 沖縄県が、歩道、駐車場、トイレ、展望台等を整備
- 環境省において入口標識を整備



稲崎園地

決定内容：区域面積 0.1ha

- 多島海景観やケラマブルーの海域や海岸を眺望する展望地
- 冬季にはホエールウォッチングが可能
- 座間味村が駐車場、案内標識、展望台を整備。
- 展望台は老朽化が進んでいることから、**環境省による再整備**を検討



高月山園地

決定内容：区域面積 2.4ha

- 多島海景観やケラマブルーの海域を眺望しながら散策ができる園地
- 美しい古座間味砂浜も展望可能
- 冬季にはホエールウォッチングの利用
- 沖縄県が歩道、駐車場、トイレ、休憩所等を整備。
- 環境省において入口標識を再整備



北浜園地

決定内容：区域面積 4.9ha

- ケラマブルーの海域が眺望できる
- 島で最も利用者が多く、シュノーケルやダイビング利用が盛ん。
- 砂浜を含む一定の広場を園地区域として決定
- 座間味村が展望台、トイレ等を整備
- 環境省において入口標識を整備

